

## より効果的な糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進と継続に向けた検討

研究分担者 樺山 舞（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

研究協力者 谷 智代（大阪府健康医療部健康推進室国民健康保険課）

神出 計（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

### 研究要旨

本研究は大阪府による糖尿病性腎症重症化予防プログラム推進の市町村支援の一環として、プログラムの効果的な実施とさらなる発展に向けた課題の解決とスキームの検討を行ったものである。2018年度に我々は事業未実施自治体へのヒアリングを実施し、プログラム実施の困難要因として、内部における課題（情報や知識、マンパワーの不足、連携困難）、および外部の課題と連携（地区医師会との連携や近隣市町村との調整）等、広域的な調整が存在することを明らかとした。これらの課題は市町村単独では解決困難な点が多く、都道府県からの支援が効果的である。今回、より効果的な糖尿病性腎症重症化予防事業の実施を目指し、特に専門医、地区医師会、行政との連携体制の構築を中心に市町村支援を実施し、課題と解決に向けたスキームを検討した。今後のさらなる事業の発展と質の向上に向けては、都道府県、管内保健所、国保連合会からの支援と連携が重要であると考えられた。

### A. 研究目的

〈背景〉本研究は大阪府による糖尿病性腎症重症化予防プログラム推進の市町村支援の一環として、プログラムの効果的な実施とさらなる発展に向けた課題の解決と検討を行ったものである。これまでに我々はプログラム未実施自治体へのヒアリングを行い、その困難要因として、内部における課題（情報や知識、マンパワーの不足、連携困難）のみならず外部との連携（地区医師会との連携や近隣市町村との調整）等、広域的な課題が存在することを明らかとした。これらの課題解決は市町村単独では困難な点が多く、都道府県からの支援が効果的である。しかし大阪府は自治体規模の差が大きく、地域特性が異なるために府下

一律的な支援では効果が得られにくい状況であった（2018年度津下班分担研究）。そのため個別性のある市町村の課題に具体的に対応する形で重症化予防事業の取り組みを推進してきた（図1）。この過程で各自治体の課題の整理を行った結果、共通の課題として、1）糖尿病性腎症重症化予防事業に関する理解、2）地域の糖尿病の課題について関係機関での共有、3）地域の医師会と自治体の連携推進・相談体制の構築、4）保険者努力支援制度の得点獲得への意識向上、の4点の必要性が挙げられた。これら課題を大阪府による糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業として支援することで、これまでに府下の9割以上の市町村が重症化予防事業の取り組みを

開始するに至った。事業実施状況の推移を図2に示す。

〈目的〉本研究ではプログラム未実施自治体への支援および実施段階が進んだ市町村全体のプログラム内容の底上げに向けた介入支援を通して、糖尿病性腎症重症化予防事業推進に伴い変化する課題を分類・整理し解決するスキームを検討した。これらを通して、今後の事業の質の向上・継続的な発展へつなげることを目的とした。

## B. 研究方法

市町村支援は大阪府国保課の糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業として大阪府国保課とともに実施した(図3)。対象自治体は、プログラム実施状況別に以下に示す5保健所圏域中の9市町村であった。

[対象地域]

- ①重症化予防プログラム未実施であり、新たに開始を検討している2町
- ②前年度のアドバイザー事業対象地域であり、引き続きの支援が有効であると考えられた2圏域6市町
- ③今後のプログラム内容にモデル的發展が見込まれた1市

## C. 研究結果

以下、各自治体へ実施した支援について記載する。

### ①未実施自治体

#### 目標

糖尿病性腎症重症化予防プログラムを作成し実施する

#### 実施内容

(A町)

- ・現状の町の糖尿病対策等の取り組み整理と事業の共有・理解

- ・プログラム作成と実施にあたり対象者基準や踏むべきステップ、押さえるポイントを明確化(町独自のチェックリスト作成)
- ・KDBシステムによる対象者抽出や地区診断支援(B町)
- ・管轄保健所との連携
- ・マンパワー不足の中、人材育成と両輪での支援をすることでプログラム実施の実現を目指す
- ・地域の健康課題の明確化による糖尿病対策の見直し
- ・健康課題の明確化におけるKDBの活用と国保連合会からの支援提供

### ②プログラム取り組み中の自治体

#### 目標

- ・糖尿病性腎症重症化予防事業をはじめとする生活習慣病予防対策の充実
- ・地区医師会との連携強化:プログラム実施結果報告や事例検討等の継続的連携の場の構築

#### 実施内容

(C・D町)

- ・プログラム開始初年度であり、地区医師会報告会の報告資料作成を支援。報告会を契機とした今後の地区医師会との連携体制の強化
- ・地区医師会報告会の場を活用し専門医からの研修を実施することによる専門医との連携強化
- ・管轄保健所による継続的な支援体制の充実強化
- ・プログラム委託のため、事業評価指標をどのように設定するか等、今後の事業の質の向上に向けた検討事項の助言(E圏域4市町村)
- ・圏域内で統一した情報提供用紙等の様

式作成し、医師会と運用の方法等相談を保健所が調整役として推進。これらの検討に対する助言

(F市)

- ・今後、対象者の基準を拡張してより効率的効果的な事業の実施を図っていくための検討と助言
- ・市担当者による地区医師会との定期的な糖尿病性腎症重症化予防事業検討会の開催
- ・糖尿病手帳の活用推進

## D. 考察

プログラム実施における課題を整理すると「より効果的なプログラム推進にむけた課題」および「今後の事業継続にむけた課題」の2つに分類された。これは、重症化予防事業の実施段階や方法、地域の連携状況、地域資源といった要因が影響するため、自治体ごとに非常に個別性が高いものであった。しかし各課題は今回の大阪府によるアドバイザー事業活用や管内保健所の支援および国保連合会との連携によって、解決へ結びつきプログラム内容と実施体制の充実・発展へとつながった。このことから、糖尿病性腎症重症化予防事業実施にあたっては、それぞれの市町村のみで取り組みを完結させるのではなく、都道府県や管内保健所が支援する等連携体制をもつことでより質が高いプログラムとなることが明らかとなった。また特に KDB を活用して効果的に進めるためには国保連合会からの助言・支援も必要となるが、事業評価のプロセスにおいては、これらの連携がより重要性を増すことが改めて示唆された。また、プログラムをスタートしたばかりの市町村においては、将来のプログラム

継続に向けて、地区医師会への効果的なフィードバックが重要となる状況であった。プログラム実施によりどのような効果をあげ、どのような課題があるのか、ということをも具体的に地域関係機関で継続的に話し合える場となるように報告することで次につながっていく市町村事例が見られた。特に、プログラムを外部委託して実施する場合には、実施体制づくりや評価等について検討のプロセスが十分に踏めない自治体が認められたため、今後は事業の評価を行政内で適切に実施できるような仕組みづくり、そして担当者が交替しても構築された関係性を維持できるような体制と工夫が求められる。

## E. 結論

糖尿病性腎症重症化予防事業の実施段階、地域連携状況、地域資源等により各自自治体の課題は異なるものの、その課題は都道府県、管内保健所、国保連合会からの支援および連携によって解決へ結びつき事業の発展へとつながった。今後は事業の評価を行政内で適切に実施できるような仕組みづくり、そして担当者が交替しても構築された関係性を維持できるような体制と工夫が求められる。

(謝辞) 本研究の実施にあたり、ご対応頂きました市町村事業担当の皆様、またご支援くださった大阪府健康医療部健康推進室の皆様にご心より感謝申し上げます。

## F. 健康危険情報

該当なし

## G. 研究発表

### 1. 著書

【原著論文】

- |   |  |
|---|--|
| <p>1. 樋口温子, <u>樺山 舞</u>, 神出 計 他. 特定保健指導積極的支援における中性脂肪該当者の特徴と中性脂肪に対する指導効果の検討.日本循環器病予防学会誌. 2020;55(2):124-133.</p> <p>2. 真殿亜季, 由田克士, 栗林 徹, 奥田奈賀子, 中村幸志, 渡邊 至, <u>樺山 舞</u>, 神出 計, 三浦克之, 板井一好, 岡山 明.遅い夕食習慣は中年男性のメタボリックシンドローム発症リスクを増加させる.循環器病予防学会誌. 2020; 55(1): 40-49.2020</p> <p>3. <u>樺山 舞</u>.【よくわかる】高血圧と循環器病の予防と管理 第二版 高血圧・循環器病予防療養指導士 認定試験ガイドブック. 第 7 章⑥節酒指導のポイント. 184-187 頁. 編集:高血圧・循環器病予防療養指導士認定委員会.2020年9月7日発行 .</p> | <p>該当なし</p> <p>2. 実用新案登録<br/>該当なし</p> <p>3. その他<br/>該当なし</p> |
|---|--|

## 2. 学会発表

### 【国内学会】

1. 井口真由香, 樺山 舞, 権藤恭之, 他. 地域在住高齢者における認知機能別に見た血糖コントロール状況に関する検討-SONIC 研究-. 第 62 回日本老年医学会学術集会. 2020 年 8 月 3-6 日. WEB 開催 .
2. 前山友理恵, 樺山 舞, 杉本 研, 赤坂憲, 権藤恭之, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 地域在住高齢者における糖尿病の血糖コントロール状況と精神的健康状態に関する検討-SONIC 研究-. 第 62 回日本老年医学会学術集会. 2020 年 8 月 3-6 日. WEB 開催.

## H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

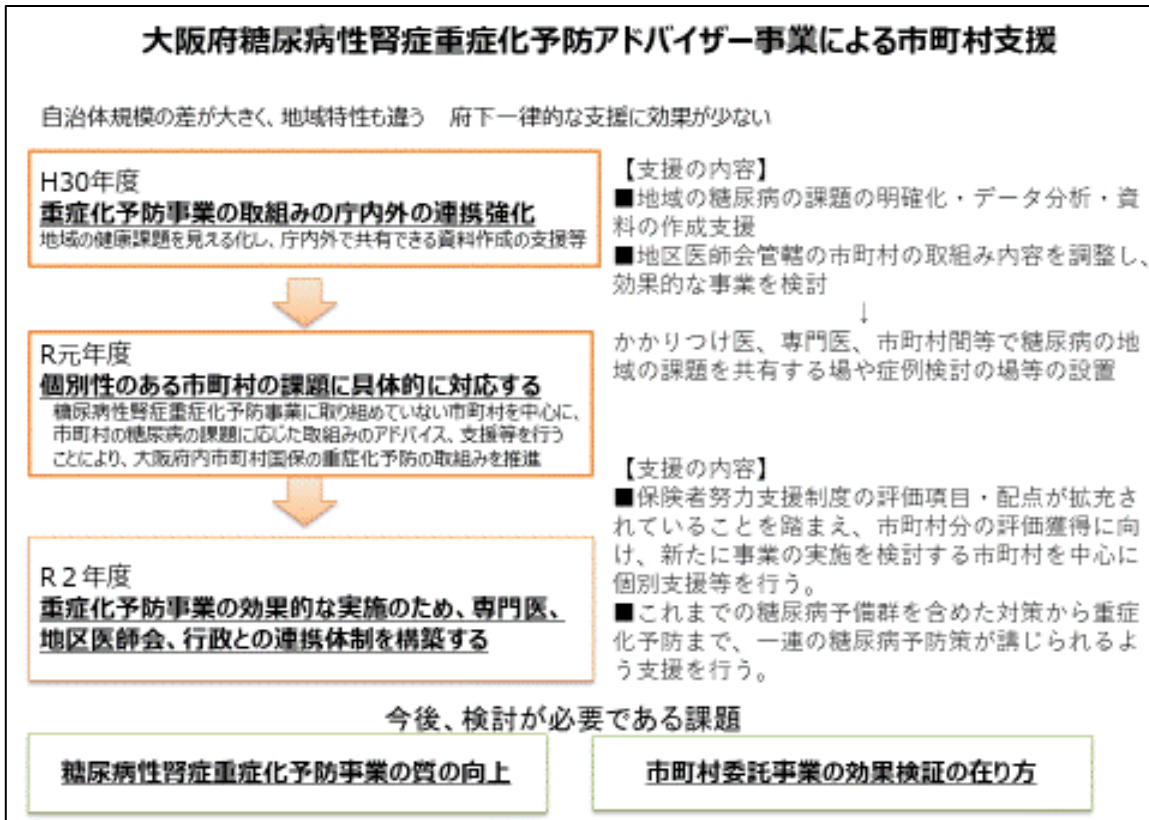
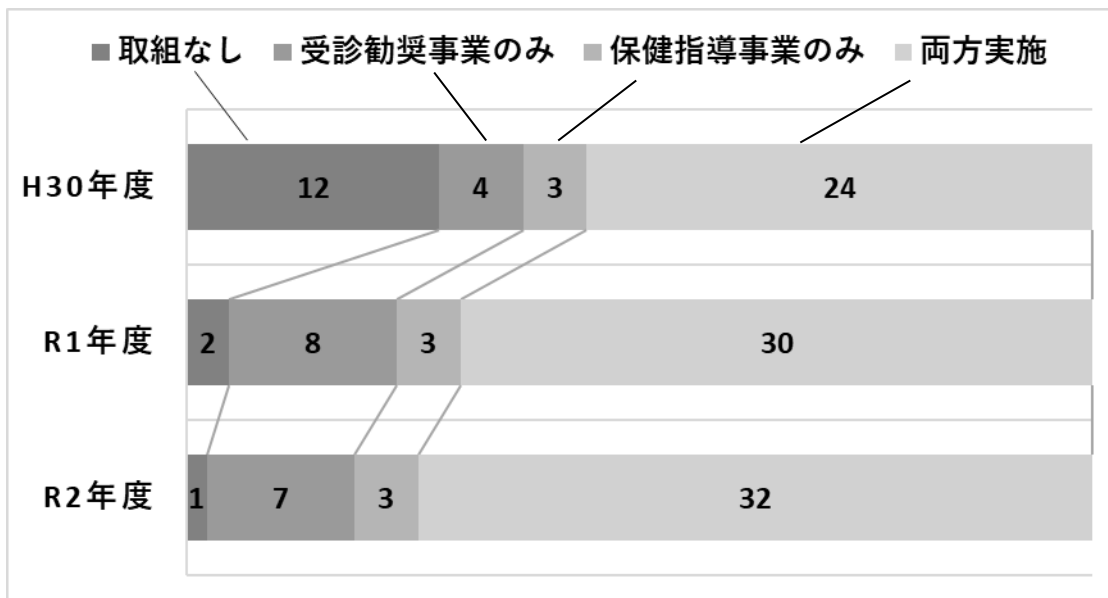


図 1. 糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業による支援内容と課題



市町村数=43

図 2. 大阪府における糖尿病性腎症重症化予防事業取組市町村数の推移

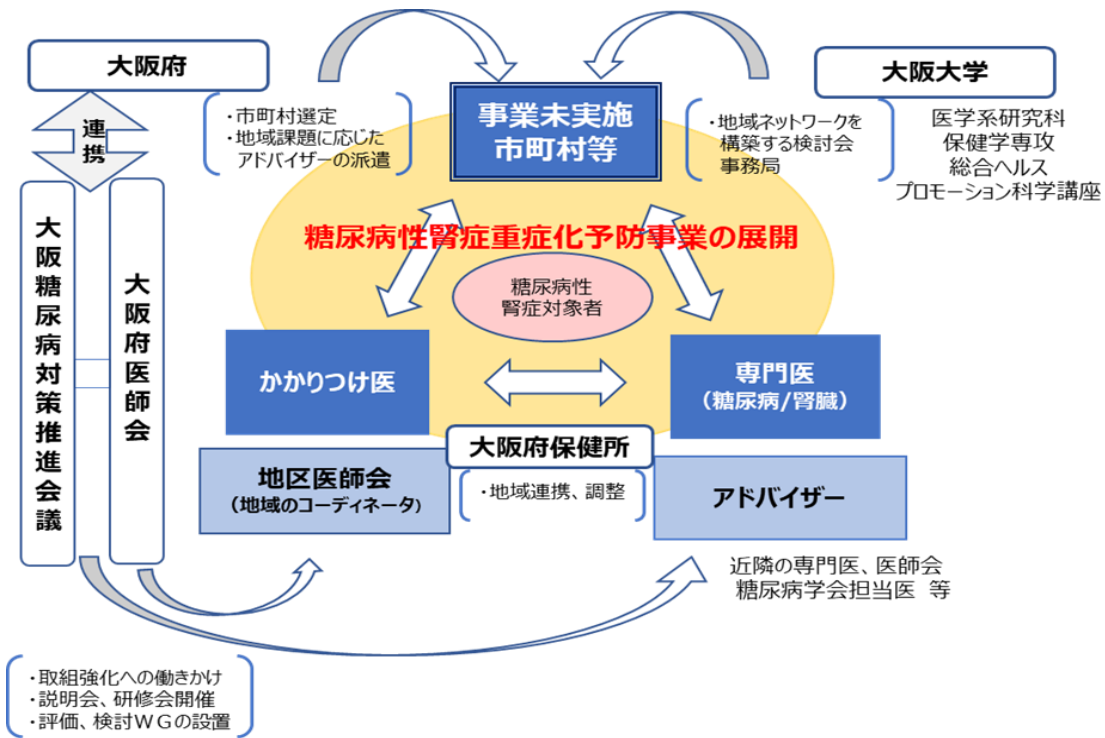


図 3. 令和 2 年度糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業の概要図